

修学院キヌヒカリ収穫



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm

6月5日に田植えしたキヌヒカリ、8月5日に穂が出始め、登熟が進み、日に日に垂れ下がる稲穂を楽しんでいましたが、台風18号に急かされて9月15日に刈り取りました。一株ずつ刈りとり結束するバインダーを院生のY君が操作中。しかし、この稲束を集めて稲木にかけるのが大仕事。ほとんどの稲作農家がコンバイン一刈り取りから脱穀まで一日でこなせる一に切り替えた理由を筋肉で理解しました。

